

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2763 号

Comorbid alpha synucleinopathies in idiopathic normal pressure hydrocephalus

正常圧水頭症にシヌクレインノパチーは合併する

櫻井 安莉 (さくらい あんり)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、特発性正常圧水頭症とシヌクレインノパチーの合併について有病率や臨床的特徴や生理学的な検査所見をまとめた研究である。合併例は非合併例で臨床所見に特徴を認めた。また画像所見と生理学的な結果から合併の診断が可能であった。

【新規性、創造性】 特発性正常圧水頭症 (idiopathic normal pressure hydrocephalus, iNPH) とシヌクレインノパチーの合併について詳細に検討されたことはなく、有病率や臨床的特徴について調査した論文である。

【方法・研究倫理】 過去 10 年間に順天堂大学医学部神経内科に入院した iNPH 患者を対象とし、後ろ向き解析を行った。

【学術的意義】 79 人の iNPH のうち 34 人が iNPH alone (iNPHa, 43%)、iNPH comorbid PD/PDD 23 人 (iNPHc+PD/PDD 29.1%)、iNPH comorbid DLB 8 人 (iNPHc+DLB 10.1%) であった。3 群において上肢パーキンソニズム、¹²³I-iofupane single-photon emission computed tomography (DaTscan) の specific binding ratio (SBR) 値、脳脊髄液 real-time quaking-induced conversion (RT-QuIC) において有意差を認めた。

【考察・今後の発展】 シヌクレインノパチーは iNPH に合併し、DaTscan の SBR 値と RT-QuIC により画像所見や生理学的検査で合併の診断が可能である。合併例の手術の効果について調べる必要があり、これを現在ランダム化比較試験で調査中である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。